

### ホットプレートで簡単パエリア



伊藤教子さん(山崎)

①米を洗いざるに上げ、砂抜きしたアサリは表面を洗っておく②タマネギ、ニンニクはみじん切りに、鶏肉はサイコロ状に切る③イカは食べやすく切り分ける④白ワイン又は酒、水、固形コンソメ、塩を小鍋に入れ温めておく⑤ホットプレートを180度～200度に温め、オリーブ油で②を色が変わるまで炒め、米を加え3分炒める⑥⑤にトマトと④を加え、均一になるように混ぜ合わせ3分ほど煮立たせる⑦アサリ、イカ、エビを入れ、蓋をして120度～130度で15分加熱する⑧細長く切ったピーマンを飾り、蓋をして保温で10分ほど蒸して出来上がり。  
 ※ホットプレートを使うので温度調整が簡単です  
 《材料》4～5人分:米3合、タマネギ1個、ニンニク1片、水煮トマト1缶、エビ(お好みで)、イカ1杯、アサリ400g、鶏肉150g、ピーマン2個、白ワイン又は酒50cc、水500cc、固形コンソメ2個、塩小さじ1、オリーブオイル(少々)

### なつかしの写真館



写真提供=飯田勇さん(目吹)

写真は昭和17(1942)年8月に業務を開始した旭郵便局(現在の目吹郵便局)の正面を写したものです。建物前面の「〒(郵便記号)」の下に「旭電信電話取扱所」の文字がありますが、当時は郵便事業のほか、現在の電話会社の取り扱っている電話交換や電報の仕事も行っていたそうです。

「深夜の電報ほど、急いでお知らせする内容が多いので、真っ暗闇の中は、大変でしたが一刻も早く届けたい気持ちで配達していました。昭和37年ごろまで配達していたと記憶しています」と当時を懐かしそうに振り返る飯田さん。

「写真の右下の斜めの棒は、郵便局の開所祝いに植えられた松の支え木です。今では太い幹の立派な松に育っていますよ」と話していました。



### 地区社協訪問(17)

#### 南部中央社会福祉協議会

南部中央地区では、平成7年に「地域ぐるみ福祉ネットワーク」を発足し、13年1月には、高齢化などの福祉課題にも積極的に対応しようと「南部中央地区社会福祉協議会」を設立しました。

**地域との交流機会を大切に**

同地区では、地区内に住む一人ひとりが、地域との関わりを持って生活できるように、少しでも人が集まる機会を増やすため、公民館を利用して、新聞紙や布など身近な材料を使った装飾品



地元の方がプローチ作りをお手伝い

が参加しました。特に7月に開催した「夕涼み会」には、地元の方を中心とした。約500人が参加しました。

「健康体操」を毎月第4木曜日に開催し、22年度には合計18回、約500人の方が参加しました。

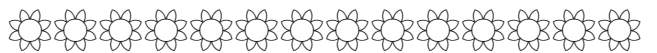
「夕涼み会」は7月16日に今年も南部梅郷公民館で開催予定です。

【問合せ】南部中央地区社協・佐藤 ☎7125-5038



「夕涼み会」では七夕飾りがお出迎え

ら高齢者まで約200人が参加し、太鼓の演奏や郷土の踊りなど、誰でも楽しめる催しが次々に行われ、地域の皆さんが時間を忘れて交流しました。



会場では義援金の受付も

**1万3千人が舌鼓**

**新名物でまちを元気に**

食の新名物でまちを盛り上げようと、(社)野田青年会議所は、6月12日、イオンノア店駐車場で「Noda-1グランプリ」を開催した。

市内21の飲食店が地元特産の醤油やもろみを使った自慢の品で競い合った。

投票の結果、新名物に選ばれた「野田若鳥のうみたて玉子焼き」は、今後市内の飲食店での提供も計画されている。